

# 安心してバイクに向き合える！

## 女性に優しい二輪車教習所

- 女性ライダーの割合は男性に比べてまだまだ少ない。
- 運転への苦手意識が女性をバイクから遠ざけている。
- 女性に優しいと評判の二輪車教習所を訪ねてみた。



### 女性ライダーを応援します！——伏見デルタ

京都市伏見区にある「伏見デルタ」は、二輪専門の教習所。2月の平日を訪ねてみると、コース上には多くの教習生がいた。何人か女性の姿もある。総務部長は「ピークは3月。今日はまだ少ないほう。遠い他県からもやって来て、合宿で免許を取る学生さんもおられます」という。京都を観光しながら免許を取得できるとあって、北海道から沖縄まで、教習生は全国から集まるそうだ。

同校における女性の教習生の割合は約1割。

「女性は20～30代が中心ですが、最近は親



学生の教習生が多い(伏見デルタ)

の勧めで入校する 10 代の女性が増えています。原付に乗りたい女子高生が、親から『ちゃんと習って自動二輪に乗りなさい』と言われて小型限定を取りに来たりします」という。

この日教習を受けていた女性に、教習の感想を尋ねると、「運転することに自信がなかったので初めは勇気がいりましたが、教官が優しく接してくれるのでがんばっています」と話す。

同校の Web サイトには、「女性ライダーを応援します!」というコーナーがあって、女性たちの教習シーンを紹介した動画が 30 本以上アップされている。「動画を見て、あの雰囲気なら大丈夫そうと思った」という教習生もいて、入校の後押しになっているという。



伏見デルタの Web サイト

## 不安解消は「第 1 段階」がカギ——狭山モータースクール

埼玉県狭山市にある「狭山モータースクール」は、卒業してからも参加できる「二輪道場」や「ペーパーライダースクール」といった講習会を実施したり、「ツーリングクラブ狭山」を作って卒業生を集めてツーリングも楽しんでいる。免許を取得したら終わりではなく、取得後のアフターフォローに力を入れることで、“安心してバイクを楽しめる教習所”という特色を打ち出している。



マンツーマンでの指導も選べる

同校では、「バイクに乗れるか心配」という女性のために「レディースコース」という教習プランを用意している。これは、教習の「第 1 段階」をインストラクターにマンツーマンで指導してもらえる。また、女性専用車両が使用できるという特典も付いている。

フロントサービス統括部の担当者は、「多くの女性は、運転操作や車両の取り回しを習う“第一段階”を苦手にします。そこを 1 対 1 で丁寧に教えるので、自信のない女性も安心してバイクに向き合うことができます」という。

この日、大型二輪の教習を受けていた女性は、「普通二輪免許を取りに来たとき、初めはバイクが怖くてドキドキしたのを覚えています。でも実際通って見たら教習は楽しくて、最初の不安は無用でしたね」と話し、いまは余裕しゃくしゃくの様子だった。

## 体格や力の弱さは克服できる—阪神ライディングスクール

兵庫県尼崎市にある「阪神ライディングスクール」は、誰もが安全に教習できる」をモットーにする二輪専門の教習所。教習プランに“レディースパック”を設けたり、低シート車を導入したり、女性専用の休憩室を用意するなど、きめ細かな配慮をしている。入校者の約3割は女性だという。卒業した女性から、新しくバイクに乗りたいという女性へと、口コミで信頼感が広まっている。

同校の女性インストラクターは、「男性に比べて、女性は体格が小さくて力が弱いですから、バイクに跨ったときに足着きが不安という人、倒れたバイクを起こせないという人が大勢います。でも、コツを覚えて慣れてしまえば、ほとんどの人が大丈夫」という。

そこで、身長147cmのインストラクターに、低シートにした女性用の教習車に跨ってもらった。「私でも両足がなんとか着くし、片足さえうまく着けるようになれば問題ありません」とのこと。また、倒したバイクを起こしてもらったが、たいした力もかけずに難なく持ち上げた。「小さな体格でもインストラクターをやれるんですから、私を見て励みになる方もいるようです」と、話してくれた。

体格や腕力に不安があって、教習所の門をくぐる決心がつかない女性は少なくない。しかし、ここで紹介している二輪教習所では、入校する前に教習車に跨ってみたり、倒れたバイクを起こしてみるなど、事前の体験は大歓迎という。心配な人は、ぜひ相談してほしいということだ。



この足着きでも慣れれば問題ない



倒れたバイクも……



コツがわかれば簡単に持ち上がる

## 女性限定の合宿免許が大好評——大佐和自動車教習所

千葉県富津市にある大佐和自動車教習所では、女性限定の合宿免許を行っており、県内以外にも首都圏から大勢の教習生が集まってくる。女性に限定していることで、女子高生や女子大生本人にはもちろん、親が安心して娘を送り出せるということで人気があるわけだ。

教習所が運営している宿舎は3棟に各14部屋あり、2人ずつ入居できるため、最大で84人が合宿可能。ハイシーズンには近隣の民宿も女性専用で借り切り、20人程度は追加で受け入れが可能という。

同校では、「春は四輪免許のために合宿する学生でいっぱいですが、シーズンが落ち着けば、バイクの免許を取りたい女性たちに、合宿免許は快適だと思います。お母さんと娘さんとか、友だち同士とか、一緒に合宿して二輪教習を受ければ楽しいと思います」という。二輪免許を取得するのを一つの“レジャー”と捉えれば、房総の海に滞在してリゾート気分教習をこなすという選択肢は、大いにありだ。



女性限定で安心の合宿免許



女性のニーズに合わせた宿舎

## 女性の普通二輪免許取得状況

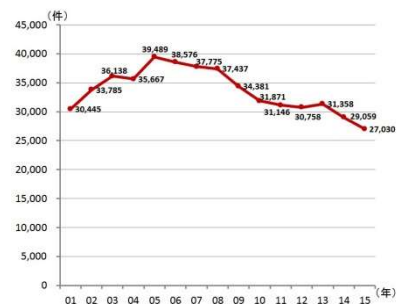
最後に、警察庁の『運転免許統計』（現在の最新は2015年の数字）をもとに、女性の二輪免許取得状況についてみてみたい。

2015年1年間のわが国の普通二輪免許の交付件数は男女合わせて17万6,076件。このうち女性への交付件数は2万7,030件で、全体に占める割合は15.4%となっている。

二輪免許を取得する女性の割合は明らかに少ないが、言い換えれば、今後の“ノビシロ”は大きいともいえる。女性ライダーの拡大はこれからだ。

★JAMA「Motorcycle Information」2017年3月号特集より

### ●女性の普通二輪免許取得者の推移



※警察庁「運転免許統計」より

免許交付件数(新規免許と併記免許の合計、失効新規を含む)。